

アメリカザリガニの集中捕獲・調査（案）

（目的）

- 1, アメリカザリガニを集中的に捕獲し、ため池植生の再生を図る。
- 2, 集中捕獲の効果を検証し、今後のアメリカザリガニの駆除活動に生かす。
- 3, アメリカザリガニの生態観察

（目標）

- ・期間内に E1 池のアメリカザリガニの個体数を集中的に捕獲し、0 に近づける。小さなため池において集中捕獲の有効性を検証する。

（実施日時）

7月14日（木）～24日（日）

（実施場所）

E1 ため池（ため池植生の再生が最も期待できるため池で、周囲からもんどりを入れることができる）期間内に、捕獲数が0になった場合、ため池 D1、E6 の順に集中捕獲を行う。

（参加者）

やしろの森公園スタッフおよびため池植生の再生やアメリカザリガニの駆除に関心のある人

（方法）

1. 毎日、9時半と16時にもんどりを揚げ、アメリカザリガニを回収、もんどりを再設置する。もんどり投入場所は、偏らず池全体に投入する。もんどりは、できるだけたくさん入れることによって効果が期待できる。（大11、小6設置予定）
2. 全捕獲数、赤い体色の捕獲数、性比、捕獲数の多い場所など今後の捕獲活動に参考になるような情報の収集をおこなう。
3. 捕獲数が、0 に近づいた段階で、他のため池からのコウホネ、ヒルムシロ等の水生植物を移植。
4. 個体数が0 に近づいたことの指標に、マーキング個体の放流を実施。マーキング個体すべての再捕獲をする。

（その他）

- ・集中捕獲・調査についての情報発信をする。捕獲状況は、HP や SNS また、園内の掲示板等を通じて、できるだけ頻繁に発信する。公園でため池植生の再生のためアメリカザリガニの駆除活動をしていることを多くの人に知ってもらうことが重要。
- ・人員に余裕があれば、来園者等に駆除活動の見学ツアーなどを実施。
- ・実施後も、アメリカザリガニの低密度状態を維持するために、継続的な捕獲体制を構築する。

（実施にあたって）

- ・参加可能なスタッフは、参加日時を梶原または事務局に連絡してください。友人・知人を誘っての参加も歓迎します。ただし、長靴、汚れてもかまわない服装で参加してください。
- ・1回について作業時間は1.5～2時間程度を見ていますが、参加者が多ければそれだけ時間は短縮できます。
- ・もんどりによる捕獲だけでなく、ペットボトルのもんどり、柴漬けやパイプ・竹を使った人工巣穴による捕獲も試してみます。